

## 海上保安庁の薬物水際対策について

### 1 過去 5 年間の摘発実績

平成 29 年の数値は 7 月 31 日現在の速報値

区分 \ 年別		平成 2 4 年	平成 2 5 年	平成 2 6 年	平成 2 7 年	平成 2 8 年	平成 2 9 年
摘発件数		10	7	7	7	12	4
押収量	覚醒剤	2.99kg	10.98kg	195.71Kg	83.29kg	1314.39kg	350.88kg
	大麻	4.6g	5.7g	3.2g	0.7g	1.0g	104.2g
	麻薬	3.5kg	116.37kg	0	86.39g	646.39g 66錠	70.28kg
	あへん	0	0	0	0	7.95g	0
	指定薬物	29.02kg	0	0	0.52g	0	0

注：表の数値は、当庁単独又は他機関と合同で摘発したもの。

### 2 最近の主な摘発事例

#### 【洋上瀬取り】暴力団幹部らによる大量覚醒剤密輸入事件（海保・警察・税関・麻取）

平成 2 8 年 2 月、関係機関と合同で、暴力団幹部ら 5 名を、覚せい剤取締法違反（営利目的所持）で逮捕した。暴力団幹部らは、覚醒剤約 9 9 キログラム（末端密売価格約 6 9 億円相当）を、鹿児島徳之島の漁港に陸揚げした後、鹿児島新港着岸中のフェリー船内に駐車中の乗用車内に所持していたものである。押収した覚醒剤は、暴力団幹部らが東シナ海海上において船籍不詳の船舶から瀬取りしたとみられる。その後の捜査で 5 名を覚せい剤取締法違反（営利目的輸入）で再逮捕するとともに、さらに関係者 2 名を同違反で逮捕した。



押収した覚醒剤



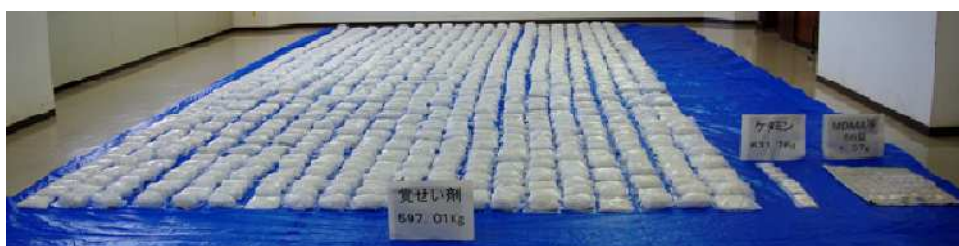
密輸に関与したとされる船舶

**【洋上瀬取り】マレーシア籍ヨット船長等（台湾人）による大量覚醒剤密輸入事件（海保・警察・税関）**

平成28年5月、関係機関と合同で、那覇港に入港したマレーシア籍ヨットにおいて麻薬等（ケタミン631.76g、MDMA等66錠等）を不法所持していた船長等（台湾人）6名を麻薬及び向精神薬取締法違反（不法所持）で逮捕した。

その後、船内の搜索差押えを実施したところ、過去最大量となる覚醒剤約597kg（末端密売価格約418億円相当）を発見押収し、同6名を覚せい剤取締法違反（営利目的輸入未遂）で再逮捕した。

船長等は、覚醒剤を東シナ海付近海上において船籍不詳の船舶から瀬取りしたとみられる。



押収した覚醒剤等



密輸に関与したとされる船舶

**【コンテナ貨物隠匿】台湾人らによる中国来大量覚醒剤密輸入事件（海保・警察・税関）**

平成28年7月、関係機関と合同で、台湾人3名を覚せい剤取締法違反（営利目的輸入）で逮捕した。

台湾人3名は、中国広東省の港を仕出しとし、東京港を仕向けとする海上コンテナ内の照明器具に隠匿した覚醒剤約150キログラム（末端密売価格約105億円相当）を貨物として積載させ、本邦へ密輸入したとみられる。



押収した覚醒剤



覚醒剤が隠匿されていた照明器具

**【クルーズ船乗客による携帯】台湾人男性グループによる覚醒剤密輸入事件（海保・警察・税関）**

平成28年12月、関係機関と合同で、台湾から石垣港経由で那覇港に入港したクルーズ船「SUPERSTAR AQUARIUS」から覚醒剤約17キログラム（末端密売価格約11億円相当）を身体に隠匿し、密輸入した台湾人3名を、覚せい剤取締法違反（営利目的輸入）で逮捕した。

その後の捜査で、受取役の台湾人3名を覚せい剤取締法違反（営利目的輸入）で逮捕した。



押収した覚醒剤



台湾人3名が乗船していたクルーズ船

**【揚収事案】屋久島沖ヘロイン密輸入事件（海保・警察・税関）**

平成29年6月、漁船が屋久島安房港南方海域において操業中に、魚網に白色の粉様のものが入った袋を発見し、揚収したもの。

その後の鑑定により、麻薬（ヘロイン）約70キログラム（末端密売価格約21億円相当）であることが判明した。関係機関と合同で捜査中。



押収したヘロイン

**3 水際対策**

国内外の関係機関との連携を強化。

瀬取りが行われる可能性がある海域に巡視船艇・航空機による監視・警戒を重点的に実施。

薬物仕出地の可能性が高い地域から来航する船舶に対して、重点的な立入検査や監視を実施。